

第1学年

いしのてんらんかい

～身近な物のよさ・おもしろさを見つけて～

- めあて
- ・ 身近にある石のおもしろさや美しさに気づく。
 - ・ 集めた石に合うように飾り方を工夫して、「たからものばこ」をつくる。

- 準備物
- ・ 身近なところで見つけた石、箱、身の回りにある布、包装紙など（児童）
 - ・ 色画用紙、マジック（教師）



< 展覧会の様子 石で生き物をつくり、ジャングルや海をつくった。 >



< 箱を布・包装紙などで飾った。石を何かに見立てて名前をつけた。 >

学習の流れ	実践上の留意点
○「いしのはっぴょうかい」をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国語科の聞く・話す「こんないしをみつけたよ」の題材と関連づける。 ・ 図工の鑑賞活動として、石のおもしろさや美しさに気づかせる。 ・ 発表メモに色・形の要素が入るようにする。
○集めた石に名前をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見立てた石には、マジックなどで描き込みをさせる。 ・ お気に入りの石を何点か選び、その特徴を捉えて名前をつけ、ラベルに書かせる。 ・ 石を何点か集めて一つの物に見立ててもよい。
○「いしのたからものばこ」をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石を展示する箱を用意し、身近にある布や包装紙などで飾らせる。 ・ 箱の面を布などで覆うときには、算数科「いろいろなかたち」での学習を活用させる。 ・ 石を並べ、箱にラベルを貼らせる。 ・ 海や山などのテーマで作ったり共同制作をしたりするなど、活動を広げることできる。
○「いしのてんらんかい」をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の学年の児童や保護者に見てもらう。

